

被爆の韓国 女性が密航

「原爆症治療したい」

【秋】秋雲は、一日午後密航の疑いで、韓国人の男一人女二人の計四人をつかまえ、調べていたが、このうち女性の釜山府釜山鎮区冷井洞一七、無職孫貴達三〇は女学生時代広島で受けた原爆症の治療のため日本にきたと自供した。

町の海岸に潜りて野宿したが、「密航者らしい」という地区民からの連絡で、山の中にひそんでいるところを見つかり逮捕された。自供によると、孫は大阪市東淀川区生れ、小学校六年のとき労働者の父母につれられて広島市に転入した。二十年八月六日の被爆當時は高等女学校三年生で、同市宇品の三菱造船所に学徒動員されていたという。「出勤後間もなく急に真暗になり机の下敷きになった。右前額やおなかにはげがえした。簡単な手当てを受けただけで



秋雲で調べをつける孫貴達三〇
「た」といっている。

ろ、右首根に長さ四、五センチのケロイドらしいものがあつた。

この記事は一部地感既報のため重複します。

file

43 10 5

朝 12

被爆した密入国

女性を治療せよ

原水崎 最高検に申入れ

原水崎は日本協会の畑中氏
代表理事と吉田嘉清事務局長は
四日、最高検公安部を訪れ、風
症治療のために密入国して山口県
・萩市に逮捕された釜山市山崎屋
冷井洞一七無職孫貴子(三〇)を「即
時釈放して、治療が受けられるよ
うにしてほしい」と懇請した。

畑中氏は「捜査当局がこの女
性を単なる密入国者として処理す
るのは、まづがっている。責任は
日本政府にあり、日本国民の人道
的な立場から考慮すべきだ」と伝
えたという。

なお同協会の調べでは、孫は
被爆当時「密山密子」という日本
名で広島県立第二高女に在学して
いた。

密航韓国人は原爆症

総連 釈放と治療働きかけ

【広島】日本で原爆症を治療したいと韓国から密航、山口県警萩署につかまつた韓国籍山市、無職、孫資達さん（以下日本名、密山静子）が二十三年三月、広島市立第三高等小学校（現在の観音中学）を卒業、八月七日に原爆を受けた」といことが七日、確認された。このため朝鮮総連広島県本部は「日本での被爆がはっきりしたので人道的立場に立つて治療してほしい」と厚生省に働きかける。

同本部は、孫の証言をとり原爆投下当時、広島にいたことを証明するため八方手をつくしていた。ところが七日、同市観音新町に孫の同級生、林澄子さん（以下旧姓藤井）がいることがわかった。同本部は、観音中に問い合わせ、当時の学費簿を調べた結果「密山静子」の名前で二十三年三月二十六日卒業していた。

同本部は、今後山口、広島両県原水協など平和団体と手をつなぎ

孫の治療実現に全力をあげるとともに、政府に早期釈放を働きかけることになった。

事実調べて 特別在留も

赤間法相語る

木村武雄行政管理局長官は、八日の閣議の席上で、赤間文三法相に原爆症治療のため、密入国して逮捕された孫資達さん（以下）寛大な処置をとるよう要望した。

赤間法相は木村長官の要望に対し、閣議後の記者会見で「木村長官に対しては検討してみることだけ返答した。原則的には密入国者は強制送還するのが筋だが、この場合、法務大臣の特別在留許可を出して日本で治療してもらうというところも考えられるので、事実の確認をしたうえで、慎重に考えてみたい」と語った。

73. 10. 11

東京

密入国の「原爆症」韓国人起訴

【山口】山口地検は「原爆症の治療をした」と密入国した韓国釜山市釜山鎮区冷井洞、無職孫寅（よ）を十一日、出入国管理令違反で山口地裁に起訴する。

孫は二日、萩署に密航の疑いで逮捕されたが「日本にきたのは原爆症の治療がしたかったからだ」と自供したため、山口県被爆者団体協議会などが救済運動を起していた。

同地検は、十三日で拘留時間が切れるうえ、これまでの調べで、原爆症にかかっているとの信頼性が薄い、かかっていたにしても、出入国管理令違反は明らかで、情状酌量の余地しか残されていないとして起訴をきめた。

孫貴達を保釈

【山口】「日本で原爆症の治療を受けたい」と山口県に密航、山口地検から出入国管理令違反の疑いで、山口地裁に起訴されていた釜山市、無職孫貴達（こは）は十四日午後五時半保釈を許され、下関入国管理事務所に移された。

在下関大韓民国領事館が十四日、同地裁に保釈を請求したもので、身納を同領事館で預かることの内容。同領事館の金允熙副領事は「仮放免がきまれば広島病院で精密検査を受けさせたい。山口県原爆被害者福祉会館とも協力する用意がある」といっている。

韓国から密航の
被爆女性仮放免

【下関】下関入国管理事務所は
十五日「原爆症治療のため密航し

てきた」という韓国釜山市釜山鎮
冷井洞、無職、孫賢達(ミチノ)女性
を仮放免した。孫の被爆の疑い
を認め、精密検査のため仮放免し
たもので、密航者にこのような扱
いをしたことは異例である。

孫は十月二日、山口県阿武郡阿
武町に密航、秋野につかまり、山
口地検から密航の疑いで起訴され
たが、山口地裁は十四日、保釈を
決定、身柄は下関入管に移され
ていた。仮放免によって下関市大和
町、貿易ビル内の韓国領事館を居

住地と定められ、広島原爆病院で
検査を受けることになる模様。

43. 10. 19

朝

孫貴達 広島へ

原爆症の検査で

【下関】原爆症の治療を願って日本に密航、つかまつた韓国女性、釜山市釜山鎮区、孫貴達(ミ)の身柄を引受けている韓国下関領事館は十八日正午ごろ、下関入管と山口地裁に日赤広島原爆病院で検査を受けるための旅行許可申請を出した。入管は差しあたり十一月十二日までの旅行許可を出した。孫は同日午後八時すぎ、急行「出島」で広島駅につき、同市内の大韓民国居留民団広島本部関係者宅に身を寄せた。

43 10 27

朝 日

韓国人被爆者救おう

広島 日韓協議会を結成

【広島】韓国人原爆被爆者の救済運動を進めるために、広島の平和団体と在日韓国人団体は、二十六日広島市内で「被爆者救済日韓協議会」を結成した。長崎市などで小さなグループの動きはあつたが、本格的な救済組織ができたの

はこれからはじめて、今後韓国から被爆者を招いて広島で治療させていくという。

この協議会は核禁広島県民会議（村上康敬議長）が中心になり在日大韓民国居留民団広島県本部などと呼びかけたところ、趣旨に賛

同したキリスト教医家連頭、日韓親善協会などのほか、これまで救済資金を韓国へ送っている広島女学院高校生徒会の代表者二十人が出席、在韓被爆者の現状や受入れ態勢を話合った。

孫に執行猶予

被爆の韓国女性

【山口】原爆症の治療のため密航してきたという韓国女性、釜山市釜山緑区冷井洞、無職孫貴達（きん）の出入国管理令違反の公判が四日山口地裁で開かれた。簡易裁判手続をとり、一日で証拠調べを終り、佐藤検事は懲役十月を求刑、植杉裁判官は懲役六月執行猶予二年を言渡した。

孫は「原爆症を治療するため日本に密入国した」といい、山口大学の安部一成教授らが「孫さんを救おう」と運動をはじめた。結局、在下関韓国領事館が身元引受人となり、十月十四日保釈、翌日仮放帰になり、日本赤十字会原爆症院で精密検査を受けている。

孫は「日本の病院で検査を受けられ大変うれしい。原爆症とわかれば治療を受け、元気になってできるだけ早く子どもたちが待つ韓国に帰りたい」といっている。

また、在下関韓国領事館の金光熙副領事は「仮放免は十五日に切れるが、その間に一月延長の手続きをして韓国に検査をさせた」と述べた。

43. 11. 9

朝 日

被爆の孫が帰国

自費出国認められて

【下関】原爆症治療のため密航してきたという韓国女性、釜山市釜山鎮区、無職孫費漢三についで、法務省は八日午後、本人の希望通り自費出国を許可、孫は同日午後五時、北九州市小倉区の小倉港発韓国行定期船「アリラン号」で帰国した。

A vertical strip of a black and white photograph showing a textured, possibly metallic or stone, surface. Near the top, there is a circular feature that looks like a hole or a decorative element. The texture is grainy and uneven.

[The page contains faint, illegible markings or bleed-through from the reverse side.]

五八

分發給各級黨部、政府、機關、團體、學校、工廠、農村、軍隊、及各界人士、

第 1 次 2 次 3 次 4 次 5 次 6 次 7 次 8 次 9 次 10 次

石の森に
子石の森

蘇東坡詩集

たのびのびと

常盤寺

愛をこめて
はるかなき
恋のうた

海防軍

碧太後蘭竹之芳

梁朝宗

寶壽堂主

卷之六

金巻 八月の巻

蘇 州 府 志



卷之六

の機をとり、
今度の藤の
花のつぼみ

[illegible]

76-21

◎三◎ 養育進力の傷歎現る

五、六十年代

二、労働者の権利と義務

国家冶金工业部

人の係状を認め
同日夕、濱の角勢山

口物集所から下町書大和所 下町入屋集

今日から、
戦国天下の
争奪の

先方より御礼を申し上げます。

身を見せつけると、たう上、肉體の命の

東京電報に依りては、

金と銀の時代

卷之二十一

會子車上夢成

